

令和 6 年第 3 回定例会

(9 月 3 0 日)

一 般 質 問 資 料

(3 回 目)

自由民主党千葉市議会議員団
向 後 保 雄

令和 6 年 第 3 回 定例会（ 9 月 3 0 日）

一括質問

通告時間： 2 0 分

1. 新加曾利貝塚博物館について

ご答弁ありがとうございました。

3 回目は意見と要望とさせていただきます。新加曾利貝塚博物館についてですが、今までも加曾利貝塚でのイベントでは、様々な体験イベントが企画されており人気でした。引き続きその様な企画展を定期的に実施するとのことですので期待をしたいと思います。

加曾利貝塚から出土する貝の 8 割以上はイボキサゴという貝で今でも木更津の盤洲干潟^{ばんず ひがた}で採れるようですが、食べられる身があまりないので大半が捨てられているようです。味噌や醤油の無い時代、縄文人はイボキサゴの出汁を使っていたと考えられており、この出汁を使って縄文グルメとして提供しているのが、問屋町にあるオリエントキッチンイタリアーナですが、ここでは「カイズッカ」というパスタが人気メニューとなっているとのことです。そしてこの出汁の濃縮エキスを抽出するのに成功した花見川区の企業が現れ、分析の結果、肝機能向上の効果があるとされる成分が、シジミの 20 倍以上含まれているとのことで、イボキサゴを活用した縄文グルメとしての幅広い活用が期待されます。市内の有志が「縄文グルメ推進委員会」を立ち上げ、提供する飲食店やレシピを拡大し「千葉市を縄文のまち」に、と張り切っているとのことです。新加曾利貝塚博物館の来訪者が、縄文グルメを提供する市内の様々なレス

トランにも訪れてもらえたら、大きな経済波及効果となると思いますので、当局の企画に期待したいと思います。

1 回目のご答弁の中で、物価高騰の影響により、施設整備の実勢価格が予定価格を大幅に上回ったことで整備内容の見直しを含めて検討しているとの事でしたが、60 年ぶりの新しい博物館の建設ですから、後でこうしておけばよかった、安かろう悪かろうにならないように十分な予算付けを要望致します

2. 高齢者の移動手段の確保と都心への交通網について

次に、地域のニーズに合った交通体系の構築についての取組みのご答弁ありがとうございます。地域住民・交通事業者・行政の3者が共通認識を持って課題解決に取り組むとのご答弁をいただきました。

支えあい交通であるデマンド交通や地域が主体的に運行するグリーンスローモビリティの導入等、地域の状況を踏まえて今後ますます増えてゆく高齢者の移動手段確保の課題解決に向けて努力をしていただくよう要望いたします。

3.福祉施設について

最後に、福祉施設についてですが、当局としては、個別の保育士の退職理由は把握していないとのご答弁でしたが、千葉日報の記事には、元職員の取材によると、「残業代が満足に支払われてこなかった。処遇改善金が適切に支給されるならと我慢してきたが、使途変更で期末手当等が大幅に減少したことで耐え切れなくなった」と話しています。こうした職員の不満を受け園側は2021年11月ごろ、経営改善に向け園長を交代する方針を提示し保護者会を開いたが、会に出席した職員が労働環境の過酷さを訴えるなどしたため紛糾し、「園に不安を感じてその場で転園を決めた保護者もいた」とのことです。保育士が大量退職するとの見通しを受け、事態は千葉市の担当部署である幼保運営課が園に対し聞き取りを行うまでに発展。3月末までにはベテランなど約15人が退職した。園側は急遽人員を確保し、4月以降も運営を継続している。ただ、新たな問題も浮上。別の情報提供者によれば「職員を急いで採用したものの保育士の配置基準等が順守されていない。園児にとっては非常に危険な運営が続いている」と指摘する、と書かれております。そもそも、悪いのは経営陣ですから、当該保育園における園長を交代するといった対応はお門違いで、監督義務のある当局としては、職員配置が基準を充足していたことを確認するだ

けでなく、経営陣の交代を指導すべきであったと申し上げておきます。

また、過去 10 年間の不正請求については、保育施設についてはゼロ件で、介護事業については 7 件あったということで、発覚の経緯には従業員からの通報、いわゆる内部告発が多いとのことですから、その様な情報を得たときには確実に不正を正すことと、厳しい処置を要望いたします。

最後に社会保険加入や雇用契約については雇用者の義務ですから適切な指導を要望いたします。

以上で私の一般質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。